

【大会特別規則】

2017.5.3

1. 使用機材
大会競技規則にある通り、本大会においてはクラシックなドロップハンドルバーのみ使用を認める。ブルホーンハンドルのみでも使用不可とする。また、ハンドルバーエクステンション（DHバー、クリップオンバー、ハンドルアタッチメント等と呼ばれるもの）については、ドロップハンドルバーに付加した場合でも使用不可とする。検車時に代替の器材が無い等であっても出走は認められないので、事前に十分確認をすること。
なお、タイムトライアルのみに許可されているホイール（バトンホイール、ディスクホイール等）およびエアロヘルメットは使用を認める。
2. ボディゼッケン/フレームプレート
 - (1) ボディゼッケンは1枚装着の場合は腰の位置中心に装着すること。2枚装着した場合でも出走は認めるが、取り付け方はロードレースと同様にすること。
 - (2) フレームプレートは原則として取付け不要とする。
3. 出走準備/バイクチェック
 - (1) 出走確認のサインシートは実施しない。出走予定時刻の15分前までに出走できる状態でバイクチェックを受けること。15分前を過ぎた場合でもバイクチェックを受けられるが、混雑により出走予定時刻に間に合わないこともあるため、留意すること。
 - (2) バイクチェックを受けた後にスタートエリアから離れることは認めない。もし離れる場合は自転車をその場においていか、再度バイクチェックを受けること。
4. 出走時刻遅れ
出走予定時刻に遅れた場合でも出走は認める。ただし、必ずバイクチェックを受けスタートラインで審判員の指示のもとスタートすること。なお、タイムは元の出走予定時刻から計測を開始する。

チーフコミッサー
力石 達也
以上